

徐福

じよふく

不老不死を求めた浪漫の旅人。平原広沢を得、王となり帰らず。



健康薬学

Jo-Fuku

《人物像》

- 博学で神秘性を持つ研究者
- 冒険者であり開拓者
- トップに取り入るしたたかさ

佐賀に伝わる古代ミステリー

今から約2200年前、史上初の中国統一を果たし、あらゆる権力と富を手にした秦の始皇帝。絶対の権力者の彼でさえまなまらなかったのが、「老い」と「死」だった。徐福はその始皇帝に仕える方士で、呪術、祈禱、医薬、占星術、天文学に通じた学者。実は始皇帝に滅ぼされた斉の国の皇太子だったが、その頭脳を見込まれて仕えていた。

司馬遷が書いた中国の歴史書「史記」によると、徐福は「東方の三神山に不老不死の霊薬がある」と進言し、始皇帝の命を受け、3,000人の童男童女と多くの技術者を従え、五穀の種を持って、東方に船出し、「平原広沢(広い平野と湿地)」を得て、王となり戻らなかったと記されている。

この徐福の渡来伝説は日本各地に伝えられているが、特に佐賀には数多くの伝承が残されており、昔から「徐福さん」と呼ばれ親しまれている。それが事実か、単なる伝説なのか、確証を得るものはないが、現代の人々に遙かな古代ロマンを与えてくれることは確かだ。

【概略年表】

紀元前	西暦	事件
BC.278	縄文時代	1 徐福誕生
BC.259		20 始皇帝誕生
BC.221		58 斉の国が滅亡し、秦の始皇帝が即位
BC.219		60 不老不死の仙薬を求め、蓬萊・方丈・瀛洲の三神山に向けて旅立つも、見つからず
BC.212		67 徐福は始皇帝に「蓬萊に行けば仙薬が手に入るが大鯨に邪魔されたどり着けない」と報告
BC.210		69 徐福らは童男童女3000人と技術者、五穀や数々の道具を船に乗せて大船団で再び出航
		始皇帝崩御
BC.208	弥生時代	71 徐福死去。2月8日のことだったとされる

※徐福の生没年などは諸説あり



▲吉野ヶ里遺跡(神埼町)。その成り立ちには徐福も関わったと考えられる

あなたにとって徐福とは？

私たちの故郷の開拓者

NPO法人佐賀県徐福会 理事長
澤野 隆 さん



徐福は弥生時代前期、100人の技術者と3000人の男女を連れて渡来しました。ここから日本では、稲作を中心とした弥生文化が始まったと推測されます。彼は広大な佐賀平野に水田を広げ、工業、医学、天文学等、様々な当時のハイテク技術を持ち込みました。その活動が私たちの住む故郷佐賀、さらに現代日本の基礎を築いたかと思うと、果てしないロマンを感じます。私たち佐賀徐福会は活動を通じて、そんな徐福伝説を皆さんにお伝えできれば嬉しいです。

徐福を知る入門の一冊

「佐賀に息づく徐福」

先代の佐賀徐福会会長である村岡央麻執筆の本で、佐賀と徐福の繋がりについて詳しく解説されている。徐福長寿館などで販売中。
村岡央麻 著/500円/全60ページ
問合せは佐賀県徐福会事務局まで。
TEL 0952-28-6260



▲不老不死の仙薬をついに発見したのは金立山の山中だったと伝えられる。金立山を背景に立つ徐福の表情もなんとなくどや顔(笑)



▲2011年11月、徐福が日本へ出航したという、中国の慈溪市から贈られた新たな徐福像。立つのは上陸地近くの「もろどき一番館」前で、後ろに見えるのは筑後川昇開橋。実は左の写真の金立山前の徐福像とは視線が向かい合っており、片や上陸地、片や目的地の仙薬発見の地で、互いに日本へ歩んだ旅路を見守っている

徐福が追い求めた薬フロフキは不老不死？

仙薬を探す徐福が金立(きんりゅう)山で出会ったのは謎の仙人。徐福が仙薬の場所を訪ねると、仙人はゆがいている釜の中を見せ、霧のように消えてしまった。その釜の中にあっただけの徐福が求めてた仙薬で、「フロフキ」という薬草だった。フロフキは、今も自生しており、土地の人々は煎じて飲めば腹痛や頭痛に効果があると言う。



▲自生するフロフキ。徐福長寿館で実物を見る事ができる。同じ科のサイジンは実際に漢方薬として利用されている

悲劇のもととは聞き違いお辰との悲しい恋の物語

お辰は金立の地で徐福と恋仲になった娘。徐福が一時この地を離れる時、「5年後に戻る」との伝言があやまって「50年後」と伝わってしまったため、お辰は悲しみのあまり亡くなってしまった。これは中国、日本を含めて唯一伝わる徐福の悲しい恋の物語でもある。



▲お辰観音堂の「おたつ御守」。恋愛成就にご利益あり

チャンスは一生に二度50年に一度の幻の行列

徐福を祀る金立神社には、何と50年に1度開催される例大祭がある。同時に神輿を担いで、徐福が上陸地から金立山まで辿った道を逆に下る「お下り神事」も開催。次の開催は2030年。一生に一度か二度の貴重な機会だ。

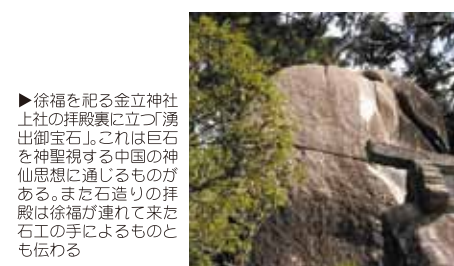
☎ 金立神社 ☎ 0952-98-1409

伝説は本当だった！発見された徐福の故郷

佐賀ではもう何百年も前から、数々の徐福文化が脈々と受け継がれているが、本場中国では徐福は長い間伝説上の人物だった。しかし1981年、江蘇省において徐福が住んでいたと伝わる徐阜村(徐福村)が発見され、その存在が認められた。今、中国では、日中韓合同の徐福ドラマが企画されるなど、にわかに徐福ブームが巻き起こっている。



▲「金立神社画図縁起」(金立神社蔵 佐賀県立博物館寄託)画面は絹布3枚継ぎで、上段は金立神社上宮、中段は金立神社下宮、下段は徐福上陸の場となっている。かつて天皇や鍋島家も参拝したという由緒ある金立神社の姿を伝える貴重な資料



▶徐福を祀る金立神社上社の拜殿裏に立つ「湧出御宝石」。これは巨石を神聖視する中国の神仙思想に通じるものがある。また石造りの拜殿は徐福が連れて来た石工の手によるものと伝わる

《時間があれば徐福ゆかりの温泉も！》古湯温泉

金立山の西にある古湯温泉は湯の神のお告げに導かれて、徐福が見つけたと伝えられている。泉質はアルカリ性単純温泉で美人の湯「める湯」として評判が高い。徐福巡りの旅の宿に最適。
☎ 富士支所産業振興課 ☎ 0952-58-2860



徐福足跡探訪コース【約2時間】(移動約65分+観光散策約55分)

モデルコース 上陸の地から、仙薬を見つけたという金立山までの道程をたどる



徐福上陸地(浮盃)
地図▶P34 C-5

徐福上陸の伝説の地で、現在は神社として拜殿や掲示板等が整備されている。ここから徐福巡りの旅をスタート！

☎ 佐賀市諸富町大字寺井津15
☎ 佐賀市諸富支所産業振興課 ☎ 0952-47-4906



新北(にきた)神社
地図▶P34 C-5

境内のビャクシンの徐福が上陸の記念に、中国から持ってきた種を植えたものと伝えられ、2000歳の貴族ある姿を拝める。

☎ 佐賀市諸富町大字為重1073
☎ 佐賀市諸富支所産業振興課 ☎ 0952-47-4906



お辰観音
地図▶P34 B-3

徐福との悲恋の末に亡くなったお辰を偲ぶ観音像。お辰が「自分のようにはさせない」と、縁を結んでくれる。

☎ 佐賀市金立町千布3055-3付近
☎ 佐賀市観光振興課 ☎ 0952-40-7110



徐福長寿館
地図▶P34 C-3

日本唯一の徐福の公的資料館。佐賀の徐福伝説発信の中心施設で、徐福や薬草に関する様々な情報はここで得られる。

☎ 佐賀市金立町大字金立1197-166
☎ 9:00~17:00 月曜 祝日の翌日 年末年始 大人300円 小中学生150円 ☎ 0952-98-0696



金立神社(上宮)
地図▶P34 B-2

金立山頂上にある、徐福を祀る神社。天皇も参拝した由緒ある神社で、その徳を感じつつ、徐福が開拓した佐賀平野を見渡そう。

☎ 佐賀市金立町大字金立3415
☎ 佐賀市文化振興課 ☎ 0952-40-7368

はみだし情報 国鉄佐賀線の線路跡を利用して作られた徐福サイクルロードは、爽やかな並木道が一直線に続き、徐福が金立山へ向けて歩いた道を追体験できる。春は桜の名所。